

経営理念	学校教育目標	大朝 (ふるさと) を愛し、すすんで学び続ける たくましい生徒の育成	(ミッション) ○ふるさとを愛し、夢をもち、自己の未来をたくましく切り拓いていく生徒の育成
	最優先事項 重点事項	「生徒の命を守る」(学校安全:安全文化の浸透,自他を大切に作る風土づくり) ○ふるさとへの愛着と誇りを育てる教育を創造する。 ○地域と一体となったキャリア教育を推進する。主体的に行動できる力を付ける。 ○主体的・対話的な学びを通して、確かな学力をつける。 ○地域へ貢献する(コミュニティ・スクール,保・小・中のさらなる連携の充実)	(ビジョン) ○健康で安全・安心な生活を送ることができ、地域に貢献する学校 (学校経営目標) ○ふるさとを愛し、自他を大切にしながら、自身の未来をたくましく切り拓く確かな力を育て、地域に貢献する学校

中期経営目標	評価計画					自己評価		今後の取組	学校関係者評価		担当
	中期経営目標	短期経営目標	達成の方策	評価指標	目標値	評価 中間 全	取組の成果・課題		評価	コメント	
「体・徳・知」の基礎・基本の徹底	「体」健やかな体の育成 たくましく生きていくために、積極的に自らの健康維持と体力の向上を図る生徒の育成 (体力・気力・耐力) 安全に生活をおくるために、防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、すすんで活動できる生徒の育成 (防災・安全教育の充実)	① 継続的に運動を行い健康を維持し、体力向上に連れて取り組む生徒の育成	○ 保健体育の授業においてサーキットトレーニング、ランニング等を行い、体力向上を図る。 ○ 生徒会(体育健康委員会)が行う体力づくり活動を積極的に実施する。	○ 新体力テストの「シャトルラン」「50m走」において広島県平均を超える生徒の割合 令和3年度 ≪持久走≫女子18.2%、男子66/6% ≪50m走≫女子30.4%、男子50% ○ 健康に注意し元気に登校するようにしている(生徒アンケート)	70% 90%					生徒指導部	
		② 防災や安全に対する課題を明らかにし、備えの必要性や情報の活用について考え、安全な行動を取ることができる生徒の育成	○ 関連教科(理科,保健,社会等)の授業で指導方法の工夫を図る。消防署等と連携した避難訓練の実施と防災教室の実施。 ○ 熱中症,感染症等の予防等時期にあった健康・安全に関する指導を実施し生徒の安全意識を高める。	○ 安全教育や避難訓練等に積極的に参加する生徒の割合・安全や防災について意識の高まった生徒の割合 (避難訓練等後に生徒アンケートを実施) ○ 健康や安全に対する意識・行動を図るアンケートにおいて肯定的な評価	90%						
	「徳」豊かな心の育成 感謝の心を持ち、当たり前が当たり前でできる生徒の育成(社会に通用する人格の確立) 共に高まるための望ましい人間関係づくりに取り組む	① 凡事徹底を図り、大朝中三訓(時間厳守,真心清掃,笑顔挨拶)を実践する生徒の育成	○ 着ベルを徹底し時間を厳守させる。 ○ 無言で真心込めた清掃の徹底を図る。 ○ 出会った人に自分から挨拶をすることを推進する。 ○ 生徒会を中心に、自分の役割を自覚し、自治的な活動を充実させる。	○ 生徒アンケートの肯定評価 ・自分から挨拶をする生徒の割合 ・時間いっぱい無言で掃除をする生徒の割合 ・着ベル等時間厳守で行動する生徒の割合 ○ 生徒会活動に積極的に取り組む生徒の割合 ・自分の役割を自覚し行動した生徒の割合	90%						
「知」主体的に考え、表現することができる生徒の育成 (見通しをもち、思考する場の設定を通じた授業づくり) (個別最適な学びの実現) (家庭学習の充実)	① 基礎・基本の定着	○ 学習規律の大切さ、意義を理解させ、徹底する。 ○ 個々のもつ課題を把握し、課題に対応した細かな指導(個別最適な学び)を行う。 ○ 計画的な家庭学習の実施	○ 生徒アンケートの肯定評価 ・授業中、先生や友達の話集中して聞いています。 ・「学校の授業」が分かります。 ○ 週課題の提出率	80%					教務部		
	② 主体的・対話的な学びができる生徒の育成	○ 短期目標を踏まえた授業研究、グループ研修を実施する。 ○ 生徒が見通しをもち、思考する場の設定を工夫する。 ○ ICTを活用した授業づくりを推進する。	○ 生徒アンケートの肯定評価 ・見通しをもち、試行錯誤しながら学習に取り組むことができる生徒の割合 教員アンケート ・見通しをもち思考する場を取り入れた授業を行った教員の割合 ・授業でICTを活用した教員の割合	80%							
信頼される学校	ふるさとを愛し夢を育む教育 (地域に貢献する心を養う)	① 地域や家庭と連携したキャリア教育の推進	○ 地域の人材、教材を活用した教育活動を行い、学校と地域、学校と仕事をつなぐ。 ○ 学校運営協議会と連携し、キャリア教育を推進する。	○ 生徒アンケートの肯定評価の割合 ・「地域の行事等に参加しています」と回答した生徒の割合 ・「将来もふるさとに貢献したい」と回答した生徒の割合 ・「将来、北広島町に住みたいと思っています。」と回答した生徒の割合 ○ 教員アンケート ・地域の人材、地域教材を行かした授業づくりを行った教員の割合 ・保護者アンケート 「学校は自分の生き方を考え、豊かな心をもった子どもを育てようとしている」 「学校は働く意味や大切さを教え、将来の職業について考えさせる教育に意欲的に取り組んでいる」の割合が年度当初より増加してい	80% 100%						

自己評価 評価規準
 4: 目標を上回って達成(目標値に対する達成割合 110%以上)
 2: 目標を少し下回った(目標値に対する達成割合 70%~90%)
 3: 目標通りに達成(目標値に対する達成割合 90%~110%)
 1: 目標を大きく下回った(目標値に対する達成割合 70%未満)

学校関係者評価(取組・自己評価・改善方針について) 評価基準 A: とても適切である B: 適切である C: 適切ではない D: 重点目標や評価項目等の再検討が必要